

ヴェリミール・フレーブニコフ

Velimir Khlebnikov

Велимир Хлебников

1885-1922



ロシアの詩人。ウラジーミル・マヤコフスキーやダニイル・ハルムスらと並ぶ、ロシア・アヴァンギャルド（ロシア未来派）芸術の草分けのひとり。ロシアのアストラハンに生まれ、カザンとペテルブルグの大学で数学、言語学などを学んだ。各地を漂泊したのち、戦時共産主義末期のソ連にあって窮乏を余儀なくされ、37歳の若さで病没。その独創性や新造語を数多く採り入れた実験的な詩的言語創造は多くの芸術家に影響を与え、ロシアはもとより、諸外国でもよく知られている。

主な作品：『笑いの呪文』（1910）、『鶴』（1910）、『シャーマンとビーナス』（1912）、『ラドミール』（1920）、劇詩『ザンゲジ』（1922）、『運命の板』（1922）。